

1 つぎの おはなしを よんで もんだいに こたえましょう。

りなのまちでは、はるにおおきなはなまつりがひらかれます。
まちは花でいっぱい。

ことは、りなの学校がかいじょうで「おはなしはっぴょう」をすることになりました。
クラスではなしあいをしました。

りなは「わたしもやってみたい」と手をあげました。

人のまえでよむのはすこしはずかしい。
でも、すきな本をよむことに、こころがひかれました。

いえにかえると、りなはすぐに本をひらきました。
気もちがったわるように、こえをおおきくしたり、ちいさくしたり。

まいにち、学校からかえたら、れんしゅうをつづけました。

いっしゅうかんがたちました。
それでもほんばんをおもうとどきどき。

足がふるえそうだとおもいました。
はなまつりのひ。

りなはおおきなステージにたち、よみはじめます。

よみおわると、おおきなくしゅがわきおこりました。

かえりみち。

りなは空を見あげました。

むねのなかもぽかぽかになりました。

「あのひ、手をあげてよかった」とおもいました。



(1) このおはなしにいちばん合うだいいはどれですか。もっともちかいものを1つえらび番号をまるでかこみましょう。

- ① 「りな、うたをうたう」
- ② 「りな、よみかせにちょうせん」
- ③ 「りな、はなをうる」

(2) りなは、はずかしいのに手をあげたのはなぜですか。そのりゆうを、25字以内でかきましょう。

()

(3) つぎのぶんは、りなのこころのきもちをあらわしています。()にはいることばをほんぶんから、そのままのことばでぬき出しましょう。

- (1) ほんばんをおもってりながかんじた
気もち ()

(4) よみおわった後のむねのかんじ
() ()

(1) つぎのできごとを、ほんぶんのおこったじゅんばんにすう字をならべましょう。

- ① まいにちれんしゅうをつづける。
- ② りなが手をあげる。
- ③ よみおわってはくしゅがおこる。
- ④ 空を見あげてかえりみちをあくる。

()

↓ ↓ ↓

()

1 つぎの おはなしを よんで もんだいに こたえましょう。

りなのまちでは、はるにおおきなはなまつりがひらかれます。
まちは花でいっぱい。

ことは、りなの学校がかいじょうで「おはなしはっぴょう」をすることになりました。
クラスではなしあいをしました。

りなは「わたしもやってみたい」と手をあげました。
人のまえでよむのはすこしはずかしい。
でも、すきな本をよむことに、こころがひかれました。

いえにかえると、りなはすぐに本をひらきました。
気もちがったわるように、こえをおおきくしたり、ちいさくしたり。

まいにち、学校からかえたら、れんしゅうをつづけました。
いっしゅうかんがたちました。
それでもほんばんをおもうとどきどき。
足がふるえそうだとおもいました。

はなまつりのひ。
りなはおおきなステージにたち、よみはじめます。

よみおわると、おおきなくしゅがわきおこりました。
かえりみち。

りなは空を見あげました。
むねのなかもぽかぽかになりました。

「あのひ、手をあげてよかった」とおもいました。



(1) このおはなしにいちばん合うだめいはいどれですか。もっともちかいものを1つえらび番号をまるでかこみましょう。

- ① 「りな、うたをうたう」
- ② 「りな、よみかせにちょうせん」
- ③ 「りな、はなをうえる」

(2) りなは、はずかしいのに手をあげたのはなぜですか。そのりゆうを、25字以内でかきましよう。

すきな本をよむことにこころがひかれたから

(3) つぎのぶんは、りなのこころのきもちをあらわしています。()にはいることばをほんぶんから、そのままのことばでぬき出しましょう。

(1) ほんばんをおもってりながかんじた
気もち ()

(2) よみおわった後のむねのかんじ
()

(4) つぎのできごとを、ほんぶんのおこったじゅんばんにすう字をならべましょう。

- ① まいにちれんしゅうをつづける。
- ② りなが手をあげる。
- ③ よみおわってはくしゅがおこる。
- ④ 空を見あげてかえりみちをあぐる。

② ↓ ① ↓ ③ ↓ ④